衛生学公衆衛生学　小テスト　　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2011 年 6 月 13 日（月）2，3 時間目　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以下の各設問に対し，右回答欄の選択肢に○をつけなさい
右の回答欄に記載が無い場合は採点の対象となりません

| 回 答 欄 | |
|---|---|
| 問題 1 | a b c d e |
| 問題 2 | a b c d e |
| 問題 3 | a b c d e |
| 問題 4 | a b c d e |
| 問題 5 | a b c d e |
| 問題 6 | a b c d e |
| 問題 7 | a b c d e |
| 問題 8 | a b c d e |
| 問題 9 | a b c d e |
| 問題 10 | a b c d e |

**問題 1**　疫学の目的である疾病予防の説明で，適切でない組み合わせはどれか

a 1 次予防 原因を除去
(b) 1 次予防 スクリーニング
c 2 次予防 早期治療
d 3 次予防 重症化防止
e 3 次予防 再発予防教育

**問題 2**　相対危険度の説明で誤っているのはどれか

a コホート研究の結果から，直接計算することができる。
b 相対危険度を近似する方法としてオッズ比がある。
(c) 要因有り群のリスクから要因無し群のリスクを引いた差で表す。
d 95%信頼区間を算出することができる。
e 相対危険度が 1 に近づくほど，差は小さいと考えられる。

**問題 3**　以下のうち，症例対照研究はどれか

a 労働者 1000 人に対して質問紙調査を実施し，現在の疾患の有病率を調査した。
(b) ある疾患の患者と健常者に電話調査を実施し，過去の記憶の回答から病因を探った。
c ある疾患に関する文献を系統的に調査し，疾患にどの要因が影響しているか検討した。
d 人口 10000 人の町の住人を 20 年間追跡し，ある疾患の発症割合について調査した。
e ある疾患の患者 500 人に新薬とプラセボを処方し，新薬の有効性について検討した。

**問題 4**　罹患率が非常に低い疾患の病因を検討するのに適切な方法はどれか

(a) 症例対照研究　b 介入研究　c 横断研究　d コホート研究　e メタアナリシス

**問題 5**　ある調査の結果，次の表を得た。オッズ比を求める式はどれか

a　(a+d)／(b+c)
b　(a+c)／(b+d)
c　(a+b)／(c+d)
(d)　ad／bc
e　bc／ad

| | 疾患あり | 疾患無し | |
|---|---|---|---|
| 曝露あり | a | b | a+b |
| 曝露無し | c | d | c+d |
| | a+c | b+d | |

**問題 6**　コホート研究が，他の研究より優れている（効率がよい）点はどれか

a 費用　b 観察期間　c 労力　(d) バイアスの制御　e 対象数

**問題 7**　リコールバイアスを生じやすい調査方法はどれか

(a) 症例対照研究　b 介入研究　c 横断研究　d コホート研究　e メタアナリシス

**問題 8**　交絡因子を制御する方法として関係が低いのはどれか

a マッチング　b 層化　(c) 悉皆調査　d 無作為化　e 多変量解析

**問題 9**　スクリーニングの結果，次の表を得た。特異度はどれか

a　a／(a+c)
(b)　d／(b+d)
c　a／(a+b)
d　d／(c+d)
e　bc／ad

| | 疾患あり | 疾患無し | |
|---|---|---|---|
| スクリーニング結果+ | a | b | a+b |
| スクリーニング結果− | c | d | c+d |
| | a+c | b+d | |

**問題 10**　スクリーニングに要求される項目として不適切なのはどれか

a 有効性　b 信頼性　(c) 独立性　d 安価　e 対象者の不便が最小限